



ファイトみせた淡路 中学は神戸FC圧倒

兵庫県少年大会

第9回兵庫県少年大会は11月14、21の両日、御崎少年グラウンドなど神戸市内の4会場に分かれて熱戦をくり広げた。初日は雨のなか寒さもきびしかったが、各地の代表は日ごろきたえた力と技を十二分に出しきった。小学生は地域のレベル差がなく、4部では1回戦のすべての試合が同点のままPK戦で決まる



OBもハッスル 2部優勝は新顔大丸

＝神戸市レグ・リーグ＝

51年度レクリエーションリーグは決勝戦は11月23日、神戸中央球技場で行われ、3部は神戸大丸が、また2部は兵庫教員が優勝した。

レクリエーションは神戸市協会が主催する市民サッカー振興のプログラムの一つで、仕事の都合などで社会人リーグには参加できないチームや、OB選手を対象としたユニークな大会。予選リーグは7、8月に消化しており、各部の上位2チームが決勝を争った。

3部は神友と大丸の対決となった。神友はこの大会の常連で大阪ガスのチーム。3交替勤務のため全員が顔をあわせるのはめずらしいが、社会人リーグでも通用するレベルを持っている。大丸は今年はじめて参加した。同志社大学の元レギュラー選手が数名いて、実力はかなり高い。

2部の決勝は終始なごやかなムードの中でキックオフ。日ごろ協会役員や審判員として忙しい往年の“名プレイヤー”も顔をつらね、感慨深げにボールを受けた。国際審判員の木

村直先生もこの日は「プレーヤー」に早がわり。年だから無理をしないでの声もよそに“若さ”にものを言わせて、巧みなフェイントで相手をかわすと、やんやのかっさいを浴びた。神戸市協会理事長の一北先生はウベゼーラー顔負けのヘディングなどで2点を決め、まだ現役でプレーできるのではないかと自信を深めた様子。試合後のベンチはいつまでも歓声が消えなかった。

3部決勝 (19~29歳)

神戸大丸 2 - 2 神友

2部決勝 (30歳以上)

兵庫教員 3 - 3 神戸FCベテランズ

予選リーグの成績で大丸と兵庫教員が優勝



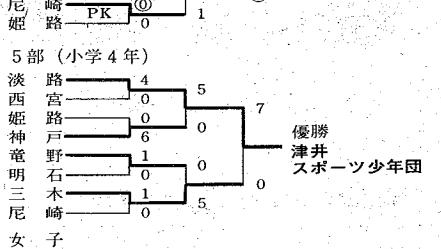
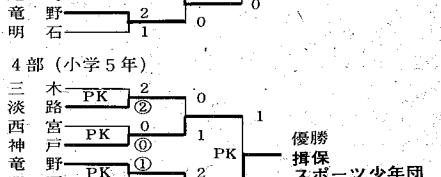
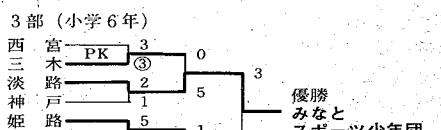
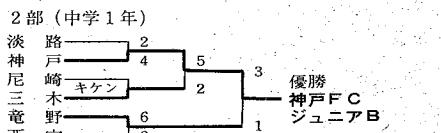
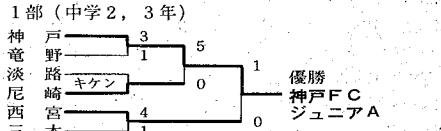
年齢を感じさせない動きでバスコースへ走る木村選手
(2部決勝 兵庫教員ー神戸FC、11月23日)

目みはる地方勢の活躍

大会競技委員長 西林 恵三

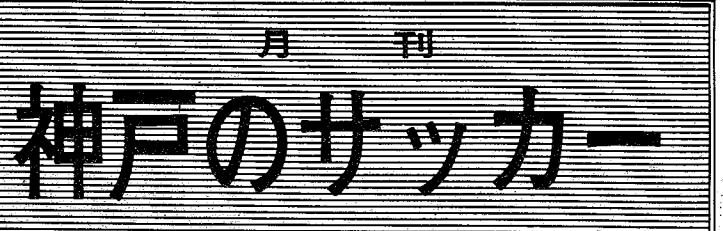
今年は非常に盛りあがりをみせ、充実した大会を運営することができました。兵庫協会が一一致協力して応援くださったお陰であり、厚く感謝しています。淡路、竜野がファイトをみせ、神戸などのチームをおそれず、見事な成績をおさめたことは、兵庫全体のレベルが確実に向かっていることをはっきり物語っています。(談)

第9回兵庫県少年大会結果



編 集 後 記

☆ 師走。このことばを耳にするだけで、なんとなく忙しい気持ちになってしまう。特に今年は、総選挙があわただしさを増幅させた。
☆ 少年、中学から高校、社会人に至るまで積極的な活動を展開し、この一年多くの成果をあげた。これをステップに、来年も大きくジャンプしたいものだ。
☆ 王様ベラがやってきた。ゴールを期待したファンには、ちょっと物足りなさも……
☆ 12月30日は恒例の天皇杯準決勝が神戸で行われる。51年最後を飾るビッグゲームに神戸球技場は大いに沸くことだろう。楽しい冬休みもうすぐ。社会人の方は忘年会が続きますが、残りの日々も有意義に。では、皆さまどうぞよいお年を。(ウ)



1976 12月号

発行所
神戸市サッカーアソシエーション
神戸市灘区上野通6丁目3-12
TEL (078) 861-3100
登録人
加藤正信
編集人
大庭信豊
購読料
1部 20円
毎月 1回 10日発行



全国高校選手権兵庫県大会

51年度全国高校サッカー選手権大会兵庫県予選最終日は11月21日、神戸中央球技場で決勝戦が行われ、神戸が葺合を下して2年連続で25度目の全国大会出場権を獲得した。

守りの葺合が攻めの神戸かで興味のある内容となり、試合はキックオフ開始から神戸の猛攻が続いたが、葺合の堅実な守りで無得点のまま時間が過ぎた。神戸は前半終了直前に、厚田のセンタリングを桜木がヘディングで決めて優位に立ち、後半、葺合の反撃を抑え、逆に柴田がダメ押しのシュートをあげそのまま逃げ切った。

葺合を破って兵庫代表に輝く神戸高→

見ていて気持ちがよかった。ただ、ボールに対する執着心と相手ゴールを強引に割ろうとするチャレンジ精神がほしい。

このほか、目立ったチームをいくつかあげてみよう。武庫工戦で延長の末PKで涙をのんだ明石南や攻撃型の御影工、それに1、2年に優秀な選手の多い淡路の三原などは、これから活躍が期待できる。いずれも指導者が熱心で、選手がその方針をよく理解し始め、独自のチームカラーを作りつつある。

初戦は相模大付 全国大会

今年度から本大会は、開催地を大阪から東京に移して元旦から8日まで行われるが、神戸は1回戦で神奈川代表の相模大付属高と1月4日、対戦する。県大会の試合を見るかぎり苦戦は免れないが、神戸としては相手よりも先にボールに触れることを心がける必要がある。この気力が勝敗を決しそうだ。2、3点の失点は覚悟しなければなるまい。桜木に続く厚田が好調であり、林の落ちついた判断が生かせれば、活路もでてこよう。

神戸25度目の栄冠

葺合、武庫工の善戦光る

葺合は神戸のウイークポイントであるパッケスを切り崩せず、神戸の強力FW陣にしてやられた。神戸は厚田、柴田の両ウイングが再三にわたりタッチライン沿いに深く切り込み、左ウイングの2年生厚田は、この大会でひとときわ注目をあび、将来が期待されている。足が遅くみえるのだが、ボールをもった時の動きは素早く、何といふてもサッカーワークをよく知っているといつてもよい。

この1点がかえって神戸の選手の動きを鈍くし、後半に入ると葺合もリズムをつかみ、阪本を中心によい攻撃を組み立てたが、両ウイングに鋭さがみられず、またFWの選手にトライしようとする意気込みが欠け、得点をあげるまでは至らなかった。両チームともこう着状態が続いたが37分、柴田が右からドリブルでゴール前に突っ込み、左足で追加点を決めた。

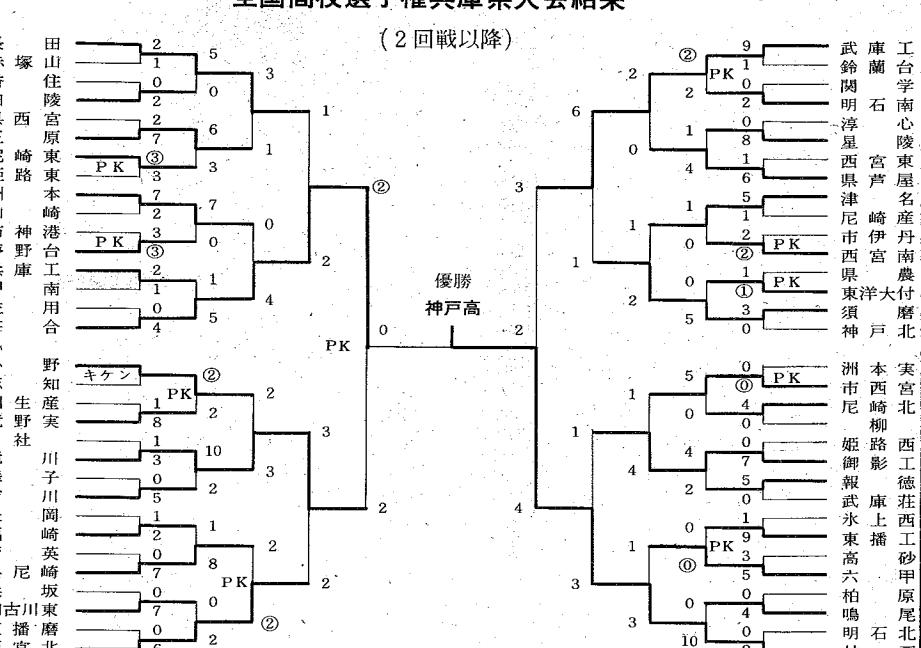
今年も予想どおり神戸の優勝で幕を閉じたが、神戸は決して楽に勝ち進んだわけではなかった。特に、準決勝の武庫工には2点とも



▲ヘッディングでゴールをねらう桜木
(決勝戦 神戸ー葺合、11月21日)

全国高校選手権兵庫県大会結果

(2回戦以降)



神戸で4試合

天皇杯全日本選手権決勝大会

準決勝は12月30日

全国から1,353チームが参加し地区予選を勝ち抜いた地域代表と、推薦の日本リーグ1部10チームのあわせて26チームによる決勝大会が、いよいよ12月12日から行われる。

神戸でも4試合が組まれており、いずれも好ゲームが期待される。まず12日には、今年日本リーグ2部入りし、前半戦を4位で折り返したヤンマークラブが本田技研と対戦する。続く第2試合では、先の全日本社会人大会で準優勝し日本リーグ2部への復帰をめざす日本電線が、フジタ工業にどう戦うか興味のあるところ。18日には今シーズン快調に飛躍している古河電工が顔をみせ、ヤンマーと本田の勝者の挑戦を受ける。

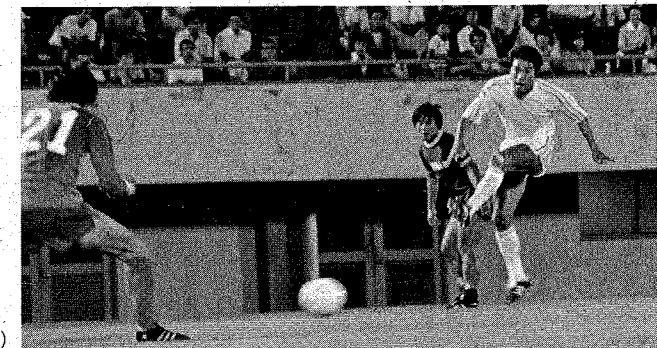
12月30日の準決勝はヤンマーの進出が予想される。リーグの不成績をねじ返そうと天皇杯にすべてをかけており、久びさの好ゲームとなりそうだ。

* 女性とごいっしょにどうぞ *

前売り券には同伴券がついてます

1回戦 12月12日(日)
第1試合 12:00 ヤンマー・クービー 本田技研
第2試合 14:00 フジタ工業 大日本電線
入場料 一般 300円
中高生 200円

写真は日本リーグ1部
ヤンマー古河電工
(9月11日 神戸中央球技場)



2回戦 12月18日(土)

14:00 古河電工 本田技研

入場料 一般 300円
中高生 200円

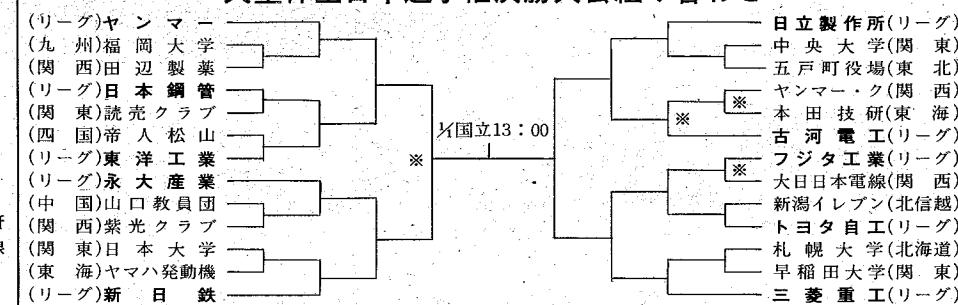
準決勝 12月30日(木) 13:00

入場料 一般 500円
中高生 300円

1回戦および2回戦は前売り券はなく当日券のみとします。準決勝の前売り券(一般)をお求めの方に限り、同伴女性お一人の入場を無料とします。前売り券の発売所は次のとおり。(12月13日より)

関 正 スポーツ ☎ 371-0857
ヤノ運動用品店 ☎ 391-1121
灘スポーツ用品店 ☎ 861-4671
オーバービー ☎ 242-3667
加茂そごう店 ☎ 221-4181
プレイガイド(新聞会館および阪急三宮)

天皇杯全日本選手権決勝大会組み合わせ



兵庫のサッカーは少しずつではあるが着実に向上している。兵庫協会の招きで来神した日本協会技術委員長の岡野俊一郎氏は、高校選手権兵庫大会決勝のあと試合をみた感想を述べ、また聴講者からの質問に答えた。決勝を戦った両チームについてだけでなく、現在の日本サッカーを分析しており、紙上に再録してみた。(一部省略)

神戸と葺合との決勝戦をみて受けた印象は、卒直にいって「ひ弱さ」です。動きの量が少なく、また動きの質とスピードも十分ではありません。

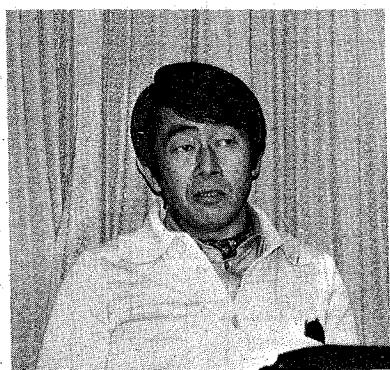
その原因を考えてみると、戦術的理解力に問題があるのだと思います。ボールをもっている人を助ける動きに鋭さがないため、孤立しているシーンがたびたび見られました。ボールをもっていない人が、ボールにどうからむかによって、その地域の攻防が有利に展開できるかどうかが決まるのです。練習の中でグループの戦術、つまり1人がボールをもった時、まわりの選手がどうサポートするかという基本のテーマを勉強すべきです。

体力的なトレーニングも欠けているのではないかでしょうか。たとえばシュートがバーを高く越してしまっても足の甲をボールにかぶせるというテクニックだけでなく、背筋と腹筋の不足が原因していることを忘れてはなりません。鋭いダッシュが見られないのも、やはり同じ理由によるものです。

得点は速攻から

決勝戦では2点ともウイング攻撃から入ったものですが、得点の条件を考えてみましょう。サッカーの最後の目的は得点することです。

サッカーの基本を考える



日本協会技術委員長
岡野俊一郎

◎本紙は次のスポーツ店にもあります

関正スポーツ

生田区下山手通6丁目65 ☎ 078(371)0857
兵庫県庁300m西側

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎ 078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

ヤマダスポーツ

葺合区熊内橋通6丁目3 ☎ 078(241)9317
雲中小学校前

塙谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎ 078(576)0870
バンドウ化学南

1回戦で広島に惜敗

6月下旬にチームをつくり8月近畿予選を通過した。延べ100時間をこえる練習を積んで本大会にのぞんだ。32チームの強豪の集う中、まさかと思った組み合わせに「きびしいな」というのが実感だった。しかし、静岡、埼玉、広島のいわゆる日本サッカーのご三家のレベルに追いつき追い越すことが永年の目標であったし、昨年の埼玉に続き、今年は広島を破ってやろうとスタッフ一同ひそかに燃えた。

日本ユース候補に8名を送ったという広島とは1点を争う試合になることを予想し、綿密な作戦をたてた。兵庫はゲガ一人ない絶好のコンディションでのぞんだ。10月25日、



佐賀国体

高校選抜チーム 監督 佃幹夫

の笛は無情にもPKを与えた。

選手はよくやった

熱戦の火ぶたは切られ思つた通り好ゲームとなつた。桜木に2人のマークをつける広島に対し、最初から強気に出た林、吉山が鋭いドリブルを見せ、再びゴールをねらったが前半を終え兩軍とも無得点。

自信に満ちてスタートした後半、一進一退が続いたがF B増決のタックルしたボールがうまい所に転がり、すかさず起きて走り込んだORからのセンタリングを、味事なヘディングでゴール正面を割られた。しかし、奮起した兵庫は猛反撃をみせ、あつという間に大野が同点シュートを決めた。

延長に入っていく分あせりの見える広島に対し、いいムードでぐいぐい攻めたる兵庫が勝てるか疑わなかったが、ツキに見離されたかのようにチャンスをものにできない。

延長後のPK戦のメンバーを考え始めたその直後、阪本がペナルティエリアの反対側の久保にパスしたボールが、ゴール前を横切って飛んだ。相手もいないし、また寄ってくる気配もないで軽く止めて味方にフィードするかに見えたが、バランスをくずした。ボールは頭をかすめて腕に触れたらしく、レフェリー

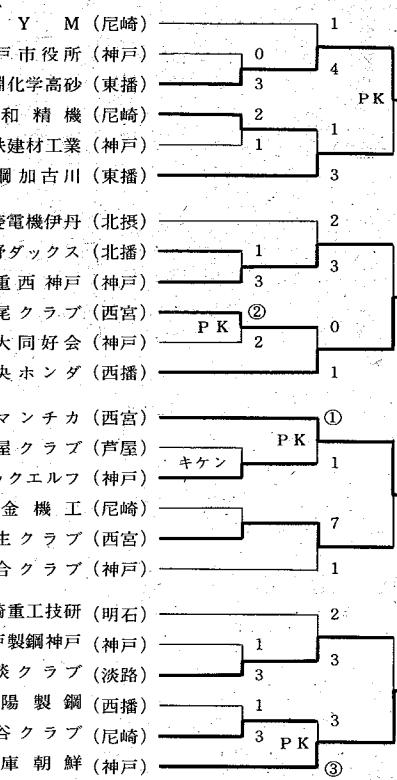
この大会で広島は準優勝した。兵庫は昨年のチームに比べて、総合力が少し劣るのではないかという声もあったが、広島戦でみせた技術、戦術、気力は決してひけをとるものではなかつた。いや、むしろ広島のレベルを上まわっていると信じている。それだけに痛恨のPKで敗れたのは全く残念でならないが、すべてを出しきった戦いを今になって振り返る時、選手諸君は胸を張ってよいと思う。

選抜チームの練習や試合に、選手を参加させてくださった各校の先生方や、練習試合のチャンスを与えていただいた兵庫教員、三菱神戸、神戸大学の皆様方のお陰で本大会に出場できることを深く感謝いたしております。

また、一日も休まず赤穂から参加された小和先生や吉井先生の両コーチ、熱心な指導をいたいた中谷先生をはじめとする県下関係各位の方々には、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げる次第です。

ベスト4決まる 一県社会人中央大会

予選トーナメント



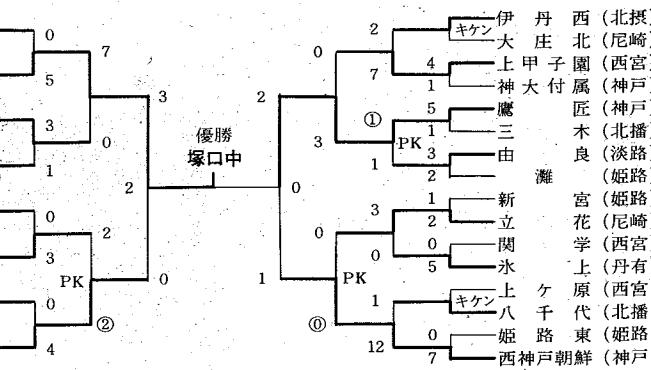
神戸社会人リーグ運営会議日程

12月16日(木)

1月20日(木) 2月17日(木) 3月17日(木)



兵庫県中学校選手権大会 結果



(決勝戦 塙口vs鷹匠 11月23日)

だろう。また尼崎の立花は西神戸朝鮮に敗れたが、今年サッカー部ができあがめられて、熱心な指導者のもと一日たくましく成長している。

兵庫県中学校選手権大会

11月7日から各地の会場で行われた51年度兵庫県中学校選手権大会は、尼崎代表の塙口ができたばかりで、熱心な指導者のもと一日たくましく成長している。

11月23日、神戸中央球技場の決勝戦は、前半の途中まで両チームとも相手を意識して、かたさが目立ったが、鷹匠の動きに塙口も本来の調子をとり戻し、スリルのある好ゲームとなった。個人技がしっかりしている上に中学生はなれた体格にものをいわせ、塙口がジリジリッと鷹匠ゴールを攻める。そして24分ついに塙口の先取点が生まれた。下前のロングシュートがゴールネットに突きさった。後半4分にも、右からのローリングをポイントゲッター裕が、鷹匠バッカのクリアミスをカットし追加点をあげた。2点を許した鷹匠は大久保らを中心に反撃をみせたが、余裕ある塙口バックスの前に結局ゴールを奪うことができなかつた。

優勝候補の一角とみられた高倉は、塙口戦で持ち前の力が出ず敗退した。上野も運に見放されたかくこうで、当然ベスト4に入つよいチームだった。御原、辰美といった淡路勢の活躍が目立つことは特筆してよい